

# 山岳友の会会報

2017年8月 第26号



第31回現地研修会（撮影：荻野秀夫）

## も く じ

第31回現地研修会	報告 小林 久雄	2
中止になった涸沢談話会	報告 横田 耕太郎	3
徳本峠の道普請	報告 小林 久雄	4
事務局よりお知らせ		4



### 第31回現地研修会報告

2017年の春は何時になく桜の開花も遅れ気味でようやく春の兆しと言う4月22日。

何時になく少ない参加者でしたが、8名の参加で花桃の里に出掛けました。開花遅れで花桃の里月川温泉郷は蕾。残念でしたが、昼神の桜と花桃を愉しみました。

1922年(大正11年にドイツ・ミュンヘンで木曾電源開発の社長福沢桃介(諭吉の娘婿)が庭に咲く三色の花桃に感動し、自分の名前に似た花の名に3本購入し大桑村須原発電所に植えた。その後には花嫁の嫁入り道具として清内路峠を越

えて阿智村にも広がったらしい。

そんな「花桃ヒストリー」にも感動。昼神の花に見とれ、温泉も満喫して、午後は「満蒙開拓平和祈念館」を訪ねた。

「語りべ」は87歳の湯澤政一さん。ロシア・



信州大学山岳友の会 御中
小林 様
平成29年5月24日
拝啓
この度は、昼神温泉 湯ったり～の昼神と新井 川にいらしていただき、誠にありがとうございます。
当日は、洗い場、数も限らぬ、団体のお客様には、御不便な点、あらかじめお詫言 改め、お詫言申し上げます。又、お礼が遅く なりました、お詫言申し上げます。
季節、変わり日は体調を崩しやすい時期と ございませう。
健康には、十分ご留意いただき、皆様のお ためにお礼と職員一同心よりお返り 申し上げます。
敬具
湯ったり～の昼神 熊谷

湯ったり～な昼神から届いたお礼状

ハバロフスク市に近い三江訓練所=両角中隊<第七次義勇隊>に14歳(1945年)で参加、16歳(1946年)に帰国。ソ連の侵攻に開拓団2,500人を護衛して列車でハルピンに避難収容所生活。中国人経営の紙問屋に雇われ冬を越し1946年10月に引揚佐世保に上陸、約2年半の青春を満州で過ごし語ってくれました。

「中学生が体験した満蒙開拓をしっかりと語り口で約1時間半」考えさせられる時間でした。



小林 久雄

## 中止になった涸沢談話会の思い出

台風と梅雨前線による大雨で、上高地へいたる道路の通行止めもあつたりで、中止となった涸沢談話会でしたが、すでに涸沢ヒュッテに上がって待つ市川さんのためにもと、行ける所まで行くつもりで沢渡に行くと、幸い始発のバスで上高地へ入山できました。雨は上がりましたが、梓川は川幅



一杯の濁流に洗われています。

河童橋から明神への中間地点を過ぎたところで、いきなり遊歩道をえぐるように流れる川に、行く手を阻まれました。浅瀬を狙ってなんとか濡らさずに渡渉できましたが、先が思いやられます。

徳沢を過ぎたところでひさおさんとひでさんに合流。

やはり、行く人は行くんだなあと思いつつ、ひと安心。実は横尾大橋を渡った先が最大の難所だったので。登山道が本流に洗われ水没。。

えらく高巻したので靴は濡れませんでした。後刻、ヒュッテで後から来た人には色々言われました。その先もいたるところに嵐の爪痕は残っていましたが、なんとか無事に涸沢ヒュッテに到着。その後、なんだかんだで8名が集まったのでした。すごい仲間たちですね。



天気は予想通り次第に良くなり、翌日は素晴らしい青空に恵まれました。

いくらか水量は減ったものの、横尾手前はやはり状況は変わりません。実はこの個所は昔から水が出やすい場所だったようで、斜面を見ると高巻きの道の跡がありました。もちろん笹に覆われていますが、帰りはその道を通りました。でも、最後はやはり渡渉が必要で、結局靴の中はびしょびしょに。それでも、普段なかなか経験の出来ない上高地と、そんな中集まった山岳友の会の仲間感謝です。



横田耕太郎

## 徳本峠の道普請 報告

5月25日 『徳本峠の道普請』に参加しました。  
梅雨の走りの雨の中を有志21名が7時45分、  
明神橋のたもとに集合し出発。前日までの猛暑  
で、雪解けがすすみ沢の残雪もだいぶ溶け出しま  
した。

何とか残雪を直登して、9時半に峠小屋に到  
着、一休み後に下り始めた。



最初の橋は雪崩回避の為に昨年秋には外してあったので  
掛けなおした。途中何カ所か土砂崩れの修復をしつつ、岩  
魚留小屋でお昼。二股までの間が大変なので、早めに出た。  
珍しく「山芍薬の花」を二カ所で発見。雨に濡れて白い蕾が  
可憐だあ。

離れ岩の下部が何カ所も土砂崩れで修復した。最後には  
橋を掛けての修復なのだが・・・橋の材料を  
200m ほど御柱の様に引かなくてはならず難儀  
な工事になった。

それでも何とか無事に終了。3時頃からは晴  
れ間も見られて疲れたが4時半に二股に到着。

安曇支所で高山さん奥原さんからねぎらいの  
言葉で解散しました。

小林 久雄



### 事務局よりお知らせ

#### ◎事務所の開室日について

事務室開室日は以下の通りです。

**月・火・木 9:30~14:00**

信州大学山岳友の会会報 第26号  
発行日：2017年8月10日  
発行：信州大学山岳友の会  
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1  
信州大学山岳友の会事務局  
TEL：0263-37-3332  
FAX：0263-37-2438  
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp